

## 2023 年度 第 2 回広報委員会 議事録

【日 時】 2023 年 6 月 20 日（火） 13：30 ～ 17：00

【会 場】 日本代協 事務局会議室

【出席者】 大和委員長

北東北	成田	南関東	田中	東 京	廣田	北陸	土田
阪神	由良	東中国	野呂	九州南	原田		

【オブザーブ】 山中副会長

【事務局】 坂常務、大谷部長 【司会】由良副委員長 【議事録】事務局

### 【委員会の要旨（確認、決定したこと）】

1. 全国一斉 Zoom ミーティングを 8/21（月）開催する（事前打ち合わせは 14 時～）  
ディスカッションテーマ「各都道府県代協の対外広報について」
2. 対内・対外広報について各 PT 会議で方向性を決定させる。

### 議 事

#### . 挨拶

1. 坂常務理事挨拶
2. 大和委員長挨拶
  - ・久しぶりに全員が集まり、場所も新事務所となっているので心機一転頑張っていきたいと思う。
  - ・先週、総会があり昨年度広報委員会の答申も無事承認され、今年度の方針についても全国会長懇談会の場で説明を行った。
  - ・例年であれば、6 月の委員会は PR 企画のコンペを行っていたが今年は模様替えをするので通常の討議の場となっている。
  - ・本日の資料は LINE WORKS で共有されているので各自確認しながら PR 企画を含め今年度の諮問事項に沿って討議していきたい。
3. 司会進行・議事録作成者の指名
  - ・司会進行に由良副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

#### . 報告事項

1. 2022 年度 広報委員会答申報告
  - 大和委員長より 6/16 の通常総会で承認された、2022 年度広報委員会 答申内容の報告があった。

#### . 審議事項

1. 「みなさまの保険情報」活用推進
  - (1) 2023 年 10 月号 紙面編集会議報告
    - 6 月 6 日（火）に開催した 10 月号編集会議の内容について由良副委員長から報告があった。
    - ・1 面の保険業界のテーマについては、以下の 4 案が提示された。
      - 地震保険の啓発・普及の推進（関東大震災から 100 年）
      - 悪質なロードサービス業者とのトラブル防止
      - 電動キックボードの規制緩和と事故防止の必要性
      - ドライブレコーダーの効用と装着の促進
    - ・編集会議 PT メンバーの多数決により 案「地震保険の啓発・普及」を 1 面テーマに、通電火

災の危険性、家具の固定の重要性等について触れていただくことで決定した。

- ・2面以降のテーマについて、以下提示された案で決定した
- 2面：介護・認知症、障害に関する公的保険とそれに対応する民間保険
- 3面：法人医療保険は何のために加入していますか？
- 4面：健康に役立つストレッチ「脇腹のトレーニング」

(2) 今後のテーマについての意見・要望

今後のテーマについて新日本保険新聞社 金井氏から説明があった。

- ・1面は10月号に採用された地震保険の啓発・普及以外の3つのテーマに加えサイバー関連について
- ・2面は「個人の資産形成」について
- ・3面は「法人の中での事故に関するヒヤリ・ハット」について
- ・4面は「健康シリーズ」について

委員から意見がなかったので次回の編集会議で決定していく(追加要望があればLINE WORKSにアップする)。

(3) 7月号購入状況

7月号の購入状況は3.6%、次回(10月号)お知らせチラシの執筆担当は土田委員であることを確認した。

各委員の取り組み状況を確認した。

(主な意見)

- ・全国会長懇談会で大和委員長から購入率5%を目指していただきたい旨伝えているので、委員の皆さんはフォローしていただきたい。
- ・料金計算シート(由良副委員長作成、日本代協HPに掲載済)を事前に作成しブロック会議で案内しようと考えている(その後、継続更新していただけるかが課題)。
- ・お客様との接点強化策として、みなさまの保険情報を活用していることが保険会社から評価されている。
- ・各地区(支部)へ直接訪問しないと会員に伝わらないと思えるだけ各支部へ出向いている。そこで独自の情報誌を発行している会員からも、これがあればもっと楽に情報提供できると言われた。
- ・税理士や弁護士も定期的に情報提供しているので、やはり情報提供は必要だと感じている。
- ・使ってみて良かったという意見はあるが、購入するまでのハードルが高いのだと思う。例えば、期間限定半額キャンペーンや代協事務局が負担して広報委員がしっかりフォローするなどの購読キャンペーンを検討してはどうだろうか。

(4) (株)新日本保険新聞社 今井社長挨拶

- ・毎年、全会員あてに発送しているものがあると思うが(現状と課題)、そこにみなさまの保険情報を同封したらどうだろうか。委員の皆さまがフォローいただければ会員にも伝わるのではないか。

2. 2022年度対内広報についてについて

(大和委員長より)

- ・ここでは2つの事について討議したい。一つは日本代協の「書庫」の在り方について、二つ目がLINE WORKSの活用についてである。
- ・まずは、日本代協の「書庫」についての意見を聞きたい。

(主な意見)

- ・会員専用書庫の上部に議事録が載っているが、会員がもっと知りたい情報を上部に持ってきた方が良いのではないか。

- ・書庫が2つあるので使い勝手が悪い。広報委員になるまで知らなかった。
- ・全国の会員に伝えたいことを、もっとアピールした方が良い。
- ・業者からアドバイスをもらって見やすさを追求した方が良いのではないかと。それをもとに広報委員会で構成を考えていければと思う。
- ・見てもらいたいのであれば、書庫の位置は上の方が良い。
- ・2つの書庫があるのなら、それぞれの相互連絡ができるようにするべき。
- ・議事録も何年分も載せる必要はないと思う。
- ・「書庫」という名前が良いのか。

(大和委員長より)

- ・HPの改編については書庫だけでなく、全体も見たいと思う。
- ・次にLINE WORKSについてであるが、理事会でも広報委員会で先行活用すると報告しているので今後の広報委員会の情報共有はLINE WORKSで行う。

(活用しての意見)

- ・LINE WORKSのIDを既に持っているのでスマホとPCとで使い分けている(切り分けが面倒)。
- ・PCへの通知がないのが不便。
- ・まだ手探りで使っている。
- ・カレンダーのスケジュールに会議資料が添付されているので、過去の資料を探すのが便利(今後議事録もカレンダーにアップする)。
- ・トータルプランナーのWEBセミナーにおいて教育委員会の運営責任者はLINE WORKSを活用しているので、活用方法について教育委員と共有していただけたらと思う。

広報委員会の情報共有はLINE WORKSで行うので必ず活用していただきたい。

### 3. 2023年度対外広報について

(廣田副委員長より)

保険代理店業の仕事の魅力と存在意義についてPT会議の中で意見交換を行った。広告にするのか動画を作成するのか、過去作成したものを再利用するのかから考えていかなければならないので、皆さんからの意見を聞きたい。

(主な意見)

- ・自分が保険代理店になったときの動機をもとにアピールしていったらどうか。代理店の魅力は収入であり、存在意義は困りごと解決業だと思う
- ・存在意義は万が一の時にお客さまから感謝されることだと思う。収入についての魅力は感じないが景気に左右されない点(コロナ禍でも大きな変動はなかった)。
- ・代理店毎に魅力は違うので、トータルプランナーが共通の魅力であり存在意義だと思う。
- ・「現状と課題」に書かれている目指すべき代理店像をアピールしていければいいのではないかと(これまでビジュアルでの提供はなかった)。
- ・代理店は千差万別なので、これだというものはない。店主に対してなのか、リクルートのためなのかによっても伝え方が違ってくると思う。
- ・リクルートをするうえで若い世代からの印象が良くない。存在意義を伝えていくのはトータルプランナーについての情宣を続けていくことが大事だと思うし、魅力を伝えるには自社内の体制を整え安定(給与面等)させることだと思う。「保険屋」としてではなく、地域から信頼されるための付加価値を提供していくことが大事ではないか。

(大和委員長より)

このプロジェクトのゴールは、今後作成する動画や広告によって保険代理店の地位を少しでも上げられたらと思っている。先ほど、目指すべき代理店像の話があったが、それは内向きなことで一般消費者に伝えてもあまり響かないのではないだろうか。やはり存在意義と魅力をどのように伝えることができるかが重要になってくると思う。

今後、新 PR 企画のおおよその方向性を検討(どんな媒体で、何を、誰につたえるのか)し、具体的な方法の検討、業者の選定(～11月)、立案した計画の実行・具体化(～3月)のスケジュールで PT 会議中心に進めていく。

#### 4. 全国一斉 Zoom ミーティングについて

事前に調整さんでスケジュール調整を行い8月21日(月)15:00～開催することが決定(事前打ち合わせを14:00～)。

(大和委員長より)

- ・第一部は日本代協の広報委員会の取組を各 PT リーダーから説明いただく。
- ・また、昨年度全国の広報委員に行った広報活動に関するアンケート結果から、特徴的な活動をしている鹿児島県代協と京都代協から好取組事例発表をしていただこうと思っている。
- ・アンケート結果については先般の全国会長懇談会で簡単に披露したが、広報活動に費やしている費用の格差に驚いていた。
- ・第二部のグループディスカッションは各都道府県代協の対外広報について議論していきたい。
- ・グループ分けをどうするか意見を聞きたい。

(主な意見)

- ・ブロック協議会で何回も同じ取り組みを聞いているので他の地域の活動を聞きたい。
- ・広告費用の使い方が活発な代協と消極的なところを一緒にしたらどうか。
- ・広告予算の規模で振り分けた方がお互い参考になると思う。
- ・予算を使っていない代協は代協の規模で振り分けたらどうか。
- ・予算を多くとっているところでも会員や保険会社から広告費を集めているところもあるので、この話を聞いてみたい。

討議の結果、グループ分けは広告費用の予算別に振り分け、グループ発表は各グループ短時間で行うこととした。

#### ・閉会・その他

##### 1. 情報提供および本日の到達点の確認

事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

##### 2. 山中副会長閉会挨拶

- ・忙しい中遠方よりお集まりいただき感謝申し上げます。
- ・先日、通常総会並びに全国会長懇談会が開催され、昨年度三冠王の表彰を行ったが前々年度は17代協だったものが34代協も入賞され大変盛り上がった。今年度既に入会目標を達成している代協が2代協もあるなど、更に盛り上がっていきだろう。
- ・みなさまの保険情報の推進については、購入率が3.6%と、このままいくと存続できるのかと危惧している。みなさまの力で何とか購入率を上げていただきたい。
- ・一番大事な保険代理業の魅力と存在意義についても、引き続きお願いしたい。昨日の週刊誌に、保険会社から見た代理店のあるべき姿について各保険会社社長がコメントしていた。求める代理店として品質が高い、コンサルできる、お客さまから選ばれる等、保険会社から見たら右肩上がり数字が伸びていく代理店を良しとしている。それはそれで大事だと思うが、代理店から見た代理店の存在意義について広報委員会の中で示されたら活力研でも役に立つと思うので、こちらもよく討議していただきたい。

以上

○全国一斉 Zoom ミーティング：2023年8月21日(月)15:00-17:00

(事前打合せ：14:00-15:00)

○第3回委員会開催日：2023年9月13日(水)13:30-17:00

○第4回委員会開催日：2024年1月23日(火)13:30-17:00